

# 事前指示書「もしもの時のために・・・」

治療をしても回復が見込めなくなったときの「延命治療」について、あらかじめ意思を示しておくことで家族や周囲の人に知ってもらうことができます。

記入するときは、ご家族や親しい人とよく話し合いかかりつけ医と相談の上、共有しておきましょう。

この書面の内容は最大限に尊重され、もしものときの参考になります。

作成日 年 月 日 本人署名

※何度でも書き直しができます

## 1 私が治療をしても回復が見込めない状態になったときの「延命治療」について

- (1) 自力で心臓が動かなくなった時に心臓マッサージなどの心肺蘇生法を行う  
希望する 希望しない
- (2) 自力で呼吸ができなくなった時に気管挿管・人工呼吸器の装着する  
希望する 希望しない
- (3) 自分の口から栄養がとれなくなった時に鼻チューブや胃ろうなどによる栄養補給を行う  
鼻チューブ 胃ろう 希望しない
- (4) 継続的な栄養補給はしないが、点滴などによる水分補給は行う  
希望する 希望しない その他( )
- (5) 最期を過ごしたい場所 自宅 施設 病院  
その他( )

## 2 私が意思表示できなくなったときに、代わりにきめてほしい人

名前 (関係) 名前 (関係)

代わりにきめられる人がいないので、医療機関・関係機関の方針にお任せします

## 3 ご家族に確認してもらいましょう

ご家族確認 年 月 日

名前 (関係)

## 4 かかりつけ医に確認してもらいましょう

かかりつけ医確認 年 月 日

医療機関名

医師名

裏面につづく



表面以外の内容で、家族や医師・関係機関に伝えたいことがあれば自由に記載してください

【自由記載欄】

【治療をしても回復が見込めない状態になったときの「延命治療」についての説明】

○心肺蘇生

呼吸や心臓がとまったときに救命のためにおこなわれる心臓マッサージや  
気管に管を入れる気管挿管をおこない呼吸を助けます



○人工呼吸器装着

自力で呼吸できないときに気管に通した管に取り付けた機械から  
空気を送り込み呼吸を助けます



○鼻チューブ

鼻から胃または腸まで届くチューブを入れて栄養を注入します

○胃ろう

おなかと胃の壁に穴を開けつけたチューブから流動食などを注入します



○点滴による水分補給

手足から針を刺して水分補給をおこないます。口から薬が飲めないときに点滴を用いて体内に入れる場合も  
あります